

ゼロカーボンシティへの取り組み

富谷市は、「住みたくなるまち日本一」の実現に向け、将来にわたって安全安心に暮らすことができる豊かな環境を未来に引き継いでいくため、資源循環、エネルギーの地産地消など、地球環境の貢献につなぐまちづくりを進め、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて取り組んでまいります。

現在の取り組み

脱炭素社会の実現に向けた意識啓発

- 地域連携・低炭素水素技術実証事業
- 燃料電池（FC）バスの運行実証事業
- 水素エネルギー啓発イベント・フォーラム等の開催
- 持続可能な社会を目指したサイエンス教育と環境啓発の実施

再生可能エネルギーの地産地消の推進

- 「再エネ調和条例」運用による適正な普及の推進
- 国や宮城県の補助制度等の情報提供

森林等の吸収源対策

- 大亀山森林公園及び都市公園の適切な整備、維持管理
- 街路樹等公共空間における植栽の適正な維持管理

循環型社会の構築

- 生活ごみの16種類の分別収集体制によるごみの減量・資源化の推進
- 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
- 使用済小型家電のボックス回収、イベント回収の実施
- 焼却施設における排熱のエネルギー利用（仙台市松森工場の発電性能の維持）

省エネ化の促進

- 公共施設の整備・改修時における照明のLED化や高効率型機器の導入・切り替え
- 街路灯・防犯灯のLED化

その他

- 新公共交通システム検討、市民バスやデマンド型交通運行事業による公共交通機関の利用促進
- 市内幼稚園、小・中学校のユネスコスクール活動

課題・検討事項（キーワード）

- ✓ 水素エネルギーの利活用（水素ステーション、燃料電池自動車）
- ✓ 再生可能エネルギーの利用拡大（未利用再エネ普及の可能性、住宅向け補助制度）
- ✓ 焼却ごみの減量化（食品ロス対策、プラスチック製品分別収集拡大）
- ✓ 住宅・建築物の省CO₂化の推進（ZEH、ZEB、LCCM住宅）
- ✓ 次世代自動車の普及拡大（EV・PHV・FCV）

今後の取り組み

「ゼロカーボンシティ宣言」への参加を機に、これまで実施してきた取組や課題・検討事項を整理し、「地球温暖化対策推進実行計画（区域施策編）の策定」に着手、具体的な方向性や施策内容について検討していきます。

また、計画の基礎となる地域内のCO₂排出量やエネルギー消費量、再生可能エネルギー普及等の現状把握など、脱炭素社会に向けた進捗状況の「見える化」のためのデータ収集に努めてまいります。